

平成28年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率報告書

健全化判断比率

(単位 : %)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (11.25)	— (16.25)	7.6 (25.0)	49.9 (350.0)

備考1 負数(黒字)となる場合は「-」で表示していますが、実質赤字比率は△8.23%、連結実質赤字比率は△17.26%となっています。

2 早期健全化基準を括弧内に記載しています。

資金不足比率

(単位 : %)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
東越谷土地区画整理特別会計	—	20.0
七左第一土地区画整理特別会計	—	20.0
公共下水道特別会計	—	20.0
病院事業会計	—	20.0

備考 負数(剩余)となる場合は「-」で表示していますが、東越谷土地区画整理特別会計は、△8,614.5%、七左第一土地区画整理特別会計は、△72.9%、公共下水道特別会計は、△13.7%、病院事業会計は、△13.7%となっています。